

アブリスボワクチン接種同意書

RSV ワクチン接種をご希望される妊婦の方へ

以下の内容を接種当日までにお読みください。

もし、不明な点がある場合は、当日、接種担当医師（女性医師）へご遠慮なくお申し出ください。

十分にご理解いただいた上で、アブリスボワクチン定期接種を実施いたします。

【アブリスボワクチンについて】 上池袋こどもクリニック

1. 目的

本ワクチンは、妊娠中（28週0日から36週6日）に接種することで、母体に抗体を作り、その抗体が胎盤を通して、胎児に移行することにより、生後6ヶ月頃までの赤ちゃんにおけるRSV感染症の重症化予防を目的とします。

2. 効果発現とワクチンの安全評価

接種後、母体で作られた抗体が胎児へ十分に移行するまでに、約2週間必要です。安全性については、現時点では重大な懸念は認められていないとされています。しかし、本ワクチンは比較的新しいワクチンであり、現在も継続して安全評価が行われています。

3. 副反応と発生頻度

数日継続する注射部位の局所の痛みが最も多く、約40%前後あります。

全身症状として、頭痛・筋肉痛といった倦怠感が30%前後ですが、妊娠症状との判別が困難です。約1日から3日で軽快することが臨床データで示されています。

発熱は、比較的少なく、数%程度で一過性がほとんどです。

※極めて稀にですが、アナフィラキシーショックのような重大な副反応が考えられます。（接種後、15分間から30分間経過観察をさせていただきます）

4. 妊娠転帰との関係性

早産・低出生体重・先天異常などの妊娠転帰との関係性は、ワクチン群とプラセボ群で有意差がないという報告が複数出ています。

以上の内容を理解し、安全接種のために必要な下記の事項についても確認した上で、RSV ワクチン（アブリスボ）接種を希望します。

接種前の1週間以内に、産科医療機関で妊娠経過および胎児の評価を受けている。

診察した産科医が本ワクチン接種を可能と判断している。

接種予約日 西暦 年 月 日時点での妊娠週数 週 日

ご署名： _____